

鳥海ダムだより



2003.11
第6号

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所



「子吉川とともに」

鳥海ダム建設促進期成同盟会副会長

由利町長 阿部 満

先般、本荘市を主会場に『川での福祉と教育の全国本荘大会』が開かれ、川の視点から、福祉と教育機能という新たな切り口が見出された大会であり、今後様々な形で注目されると考えるものです。

特に、手前勝手になりますが、大会前日には国土交通省河川環境保全調整官をはじめ、全国的に活躍されているNPOの代表などたくさんの方々をお招きし、我が町の西滝沢小学校で「子どもの水辺」懇談会を開かせていただきました。

来年3月を以って、その130年の長い歴史の幕を閉じる小学校ではありますが、木造の校舎、子吉川に隣接するグラウンドと桜の大木、今その跡地利用について校舎をメインにした“川の駅”構想が浮上しております。

その中で学校跡地の有効利用について多くの助言をいただき、川あるいは学校への思い入れを新たに致した所であります。

さて、子吉川は、霊峰鳥海山に源を発し、その延長約60kmの我が国有数の急勾配の川として峻烈な流れで日本海に注いでいるのであります。

故に、大雨時には幾度となく暴れ川に変貌するのですが、肥沃な土壌をつくり毎日欠かすことのできない飲料水、灌漑用水、そして流域の動植物の営みに大きな恵みを与え、いわゆる人と自然の関わりの根幹をなす母なる川であります。

混沌とした昨今の社会・経済情勢故、少々乱暴な想いではありますが、今こそ“子吉川”に正面から対峙することを唱えたいのであります。

21世紀は『水の世紀』とも云われております。先人の川との付き合いの歴史を手許に引き寄せながら、水を清らかに保ち、土をつくり本物を生産する農村はそれにふさわしい自然景観を呈すること即ち、清流子吉川を次世代に引き継ぐことを第一義的に捉え、目前に迫っている市町村合併を待つまでもなく将来的には鳥海山・子吉川を地域の顔として全国に向け情報発信することが必要不可欠と考えます。

いずれ、鳥海山・子吉川と日々のくらしは不離一体のものであるという概念をメンタルな支えとしながらも、つまり私たち一人ひとりがその鍵を握っているものと考えます。

鳥海ダム先例地視察研修

9月3、4日及び9月10、11日の2回にわたり、鳥海ダム建設予定地である鳥海町百宅地区の方々を対象に、先例地視察を行いました。この先例地視察は、鳥海ダム建設に伴う移転者の生活再建対策を円滑に進めるために実施しているものです。今年先の例地視察は、当事務所としては、初めての試みによる男女別の先例地視察を実施しました。百宅地区の男性の方々は、青森県三戸郡南郷村にある世増ダムを、百宅地区の女性の方々は、山形県西村山郡西川町にある寒河江ダムを視察しました。

世増ダム視察

9月3、4日に、百宅地区の男性20名、鳥海町職員及び当事務所職員で、世増ダムを視察研修しました。世増ダムは、東北地方農政局の事業で、当日は、東北農政局八戸平原開拓建設事業所の職員や世増ダム地権者協議会の方々に出席していただき、世増ダムの事業概要や、移転時の苦勞などの貴重な話を聞かせていただきました。



寒河江ダム視察

9月10、11日に、百宅地区の女性13名、鳥海町職員及び当事務所職員で、寒河江ダムを視察研修しました。当日は、最上川ダム統合管理事務所において、同事務所職員、西川町職員、寒河江ダム地権者会の方々から、寒河江ダムの概要や、補償契約までの経緯や、地権者会としての苦労話やアドバイスなどを聞かせていただきました。その後、寒河江ダムの集団移転地を視察しました。



ウォーキングスタディ・イン鳥海

10月1日、本荘市立小友小学校6年生と鳥海町立直根小学校6年生を迎え、ウォーキングスタディ・イン鳥海が実施されました。このウォーキングスタディ・イン鳥海は、鳥海ダム予定地の周辺を歩きながら自然を体験学習することにより、郷土に理解を深めてもらうとともに、子吉川上下流の児童の交流を図ってもらうことを目的に実施しているものです。元本荘市立北中学校長の木谷豊四氏に指導を頂きながら、河川、地形、地質、動植物、ダムなどを、現地で、楽しく学習されました。

当日は、法体の滝から玉田溪谷散策路を通り洞合（どあい）橋までの自然観察を行い、法体の滝園地に戻って昼食をとりました。午後からは当事務所須藤調査設計課長による鳥海ダムの模型を使ったダムの説明、木谷氏による鳥海山噴火模型実験を行い、その後は班別に分かれ、園地内で散策クイズを行いました。

最後に参加者全員で記念撮影をして閉会となりました。



開会式



双眼鏡使用の予行練習



木谷先生の指導による自然観察

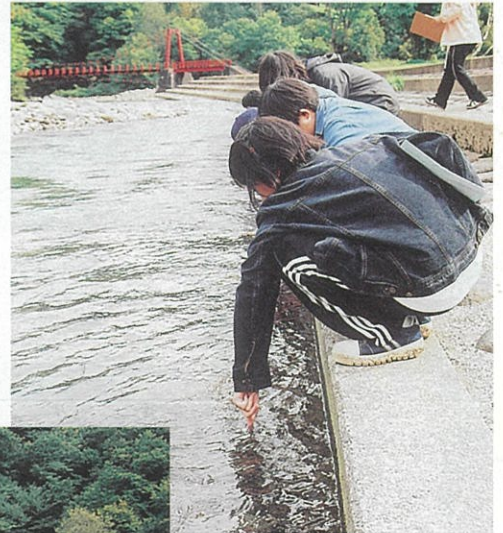




鳥海ダム模型を使った説明



木谷先生による鳥海山噴火型模型実験



園地内散策クイズの様子



記念撮影

子吉川いかだ下り大会開催

7月27日に、今年で14回目を迎えた「子吉川いかだ下り大会」が行われました。
盛大に行われた大会の様態を紹介します。



全国獅子舞フェスティバル・鳥海

第30回鳥海獅子まつり

8月30日に、県内では初めての「第6回全国獅子舞フェスティバル・鳥海」が、鳥海町健康広場特設ステージで開催されました。

今年は、鳥海町の伝統芸能「本海番楽」県文化財指定40年と、恒例の「鳥海獅子まつり」が30回目と、節目を記念し、全国フェスティバルを呼び同時開催し、県外の4団体を含む10団体が出演されました。横浜の団体の「中国獅子舞」や地元伝承団体の鳥海町に伝わる「本海番楽」など、全国各地に伝わる獅子舞が披露されました。

また、フェスティバルに先立ち、町内の各団体などが競演する「第30回鳥海獅子まつり」が開催されました。



鳥海町長挨拶



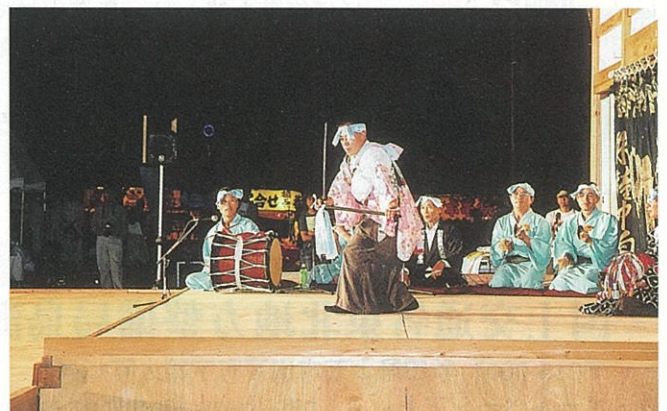
篝火に点火する当所柳町所長



全国各地に伝わる獅子舞の競演



会場風景



下百宅番楽

鳥海ダム事故防止委員会安全パトロール実施

8月27日に、鳥海ダム事故防止委員会安全パトロールが実施されました。この安全パトロールは、現在、鳥海ダム調査事務所と契約を締結し、現地にて作業を行っている業務に対し、事故を未然に防止し、適切な安全対策が施されて作業が行われているかを確認するためのものです。当日は、鳥海ダム地質調査（その1）及び（その2）の現場をパトロール後、鳥海町の鳥海荘において、意見交換を行いました。



編集後記

今号では、鳥海ダム建設促進期成同盟副会長の阿部満由利町長に寄稿していただきました。ありがとうございました。

今回は、鳥海ダム先例地視察研修、ウォーキングスタディン鳥海等を中心に7月下旬から10月に行われたイベント等を紹介しました。

ほぼ紅葉も終わり、鳥海山はすでに雪化粧しており、もうすぐ厳しい冬の到来です。鳥海ダムだよりでは、寒い冬に負けないくらいのホットな話題をこれからも紹介していきたいと思います。

今後とも鳥海ダムだよりをよろしくお願いします。

担当 補償調整課

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp